
編集後記

最近、大学改革の記事が新聞には載らない日はないくらい盛んな議論が行われています。大学がイノベーションを起こすために力を尽くさねばならないことは理解できますが、こうした改革が長い眼で見て、我国や日本の大学のための確かな方向を示しているのか、疑問に思うことがよくあります。

その一例が入試改革です。「能動的に考える人を育てるため、入試を改革する」とのこと。この目標自体は間違っていないと思いますが、しかし、人生のある時代に、既に古典となった先人の研究を一生懸命に学び理解し、沢山のことを記憶することは、その先にある「考え創造する」ためには必要なことです。

上記の入試改革のかわりに、大学の出口である就職試験に、「専門知識をベースにした課題解決能力と課題発見能力、もっと言えば、新しい価値を創造する力」があるかどうかを選考すれば、大学生の学問への姿勢も、大学の意識も明確に変わるでしょう。それだけのことで社会が大きく変わると思います。

しかし、それが会社の人事担当者にできないとすれば問

題ですし、仮に1社だけ行くと、その会社の人気落ちるからそれに似合うよう給料を上げなければならないという隠れた背景があるとすれば、結局、現在の大学入試改革は、「即戦力となり得る優秀な学生を“安価に”集めたい」という一部の産業界における経済活動の観点に基づく希望なのかもしれません。

大学の使命は、次代を担う学生の育成とともに、育成に必要な「正解の分からぬ課題」への挑戦です。寝食を忘れてしまう程の強い知的好奇心と解決されたときに手中に収める喜びが、課題解決の原動力です。こうした研究と教育の「純粋さ」を、長期的視野のない改革の犠牲にしては欲しくありません。

この「超音波医学」も、そのような成果を出そうとする「純粋な研究」の推進に貢献できれば、編集者としては大変幸いです。

金井 浩
東北大学大学院工学研究科電子工学専攻
／医工学研究科医工学専攻

超音波医学

Japanese Journal of

Medical Ultrasonics

第42巻 第5号 (通巻第289号)

© The Japan Society of Ultrasonics in Medicine

—禁転載—

本体価格 2,000円+税 (本誌購読料は会費に含まれます。)

平成27年9月15日発行

編集者 一般社団法人日本超音波医学会編集委員会 委員長 金井 浩

発行者 一般社団法人日本超音波医学会 理事長 工藤 正俊

〒 101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-23-1

お茶の水センタービル 6階

TEL 03-6380-3711

FAX 03-5297-3744

印刷所 大村印刷株式会社